

12・8不戦の誓いヒロシマ集会アピール（案）

1941年12月8日、日本軍はハワイ真珠湾の米軍基地を奇襲攻撃し、アメリカ、イギリスなどに宣戦布告しました。80年前の今日です。中国に対する侵略戦争が泥沼化する中、戦場は南太平洋からインドという広範囲におよびました。この侵略戦争で中国をはじめアジアの国々で数千万人が犠牲になり、日本では主要都市が爆撃され、沖縄での地上戦、広島・長崎への原爆投下など日本人の死者も300万人を超え、無条件降伏をもって終わりました。

戦後、私たちはこの大きな反省の下に、「平和主義」「国民主権」「基本的人権」を原則とした日本国憲法を築いてきました。しかし、菅政権の後を引き継いだ岸田文雄首相は、「安らかに眠って下さい 過ちは繰返させぬから」と刻み込まれた原爆慰霊碑がある被爆地・広島出身の総理大臣にもかかわらず、憲法違反の「戦争法（安保法制）」や「核兵器禁止条約」の批准・署名を拒むなど、悪しき安倍・菅政治を踏襲し、「憲法9条改憲」や「敵基地攻撃能力の保有」など戦争する国づくりへと前のめりに突き進んでいることを決して、見逃すわけにはいきません。

そして今、この国では護衛艦「いずも」が航空母艦に改造され、ステルス機の発着訓練が着々と行われ、防衛省が明らかにした来年度の概算要求は、今年度当初予算2.6%増の5兆4797億円に達しています。さらに付け加えれば、台湾周辺では、米軍が実践さながらの訓練を行っている事実があります。安保法制の解釈でいけば、一つ間違えば、私たちの国は戦争の最前線に立たされ戦前への逆戻りになる現実があります。

私たちは過去の植民地支配と侵略戦争の反省に立って、この「12月8日」を「8月6日」と並んで、ヒロシマが忘れてはならない日と位置づけ、戦争をさせない運動を取り組んできました。今日、12・8開戦から80年を迎え、改めて戦争の歴史・教訓に学び、「青年よ銃をとるな」、「教え子を再び戦場に送るな」と呼びかけた先人の言葉を今一度かみしめ、ヒロシマに暮らす私たちが平和と民主主義を守るための活動を強化することを誓い合い、「不戦の誓い」とします。

2021年12月8日

12・8不戦の誓いヒロシマ集会